



## 大人総ぐるみで

校長 垣崎 晃

3学期も3月を残すのみとなりました。先日、6年生を送る会がおこなわれました。例年では、全校児童が体育館に集まり、学年ごとに出し物を披露してきました。しかし、今年度はそれができません。そこで、アイデアを出し合い、学年ごとにビデオ集録をし、それを6年生に見てもらおうということになりました。当日は、6年生が体育館に集合。1年生から5年生の児童が演じたビデオを見ました。6年生以外の子供たちは、教室でZoom観賞です。どの学年も個性あふれる演技、素晴らしかったです。6年生も喜んでいました。最後は、6年生の演奏です。アフリカンシンフォニーを聴かせてくれました。ここでも例年なら、全員で演奏するのですが、リコーダーや鍵盤ハーモニカ等が使えないため、1曲の中で、楽器を交代し合いながら、演奏を聴かせてくれました。演奏者が交代しているとは思えない素晴らしい演奏でした。さすが6年生という演奏に教室で聴いていた下級生たちも感動していたということです。6年生には、この学校で学んだことを誇りに希望をもって中学校生活をスタートしてほしいと思います。

他の学年も1年間のまとめをする大切な時期です。その学年の学習内容はもちろん、今身に付けるべき基本的な生活習慣を身に付けて、“こんなことができるようになったよ”と胸を張って修了式を迎えてほしいと思います。

まだ寒い日もありますが、草木は、春に向けて着々と準備を進めています。子供たちが大きくなった時代はどんな世界が待っているのでしょうか。

めまぐるしく社会が大きく変化するなか、子供たちがこれから生きていく社会は何が待っているか分かりません。先行き不透明な時代だからこそ、子供たちには、心身共に丈夫な生き方のできる人に育ててほしいと願っています。

そのためには一人や二人でなく、大人総ぐるみで子育てに取り組む姿勢が大切だと思います。もちろん親が我が子に教えるべきことはたくさんありますが、子供が成長するにつれ、親ではなくむしろ他人に教わるのがたくさんあります。何よりも将来の自立に向け、誰もがすべきことをきちんとできるようにすることが大切だと思います。

子供たちには縦にも横にも幅広い、容量の大きな人間になってほしいと願っています。そのためにも、自分の子供だけを見るのではなく、よその子供にも係わるお気持ちを持っていただきたいと思います。子供たちの成長に大人の役割は大きいです。大人がしっかりスクラムを組んで子育てをしていきましょう。